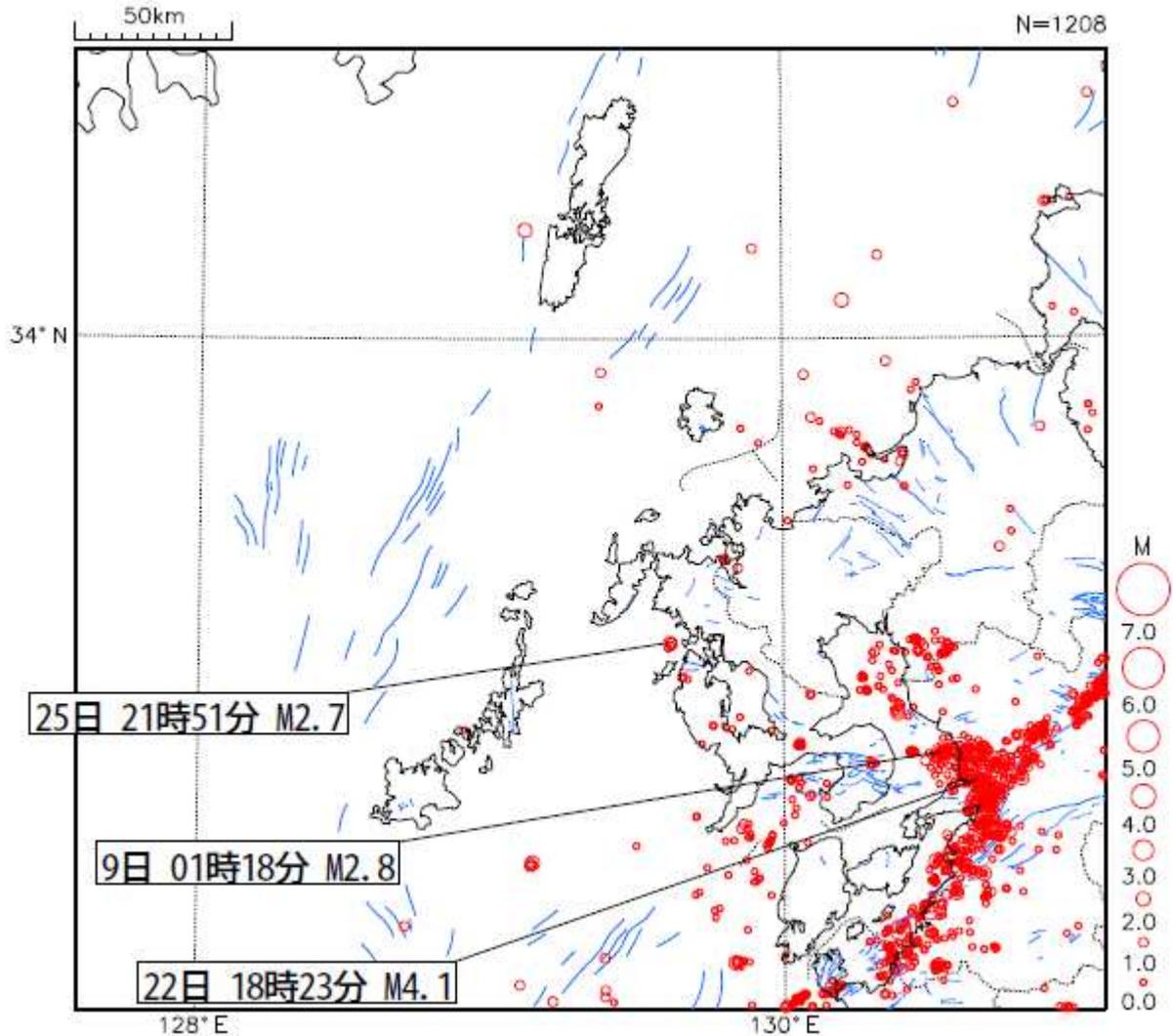


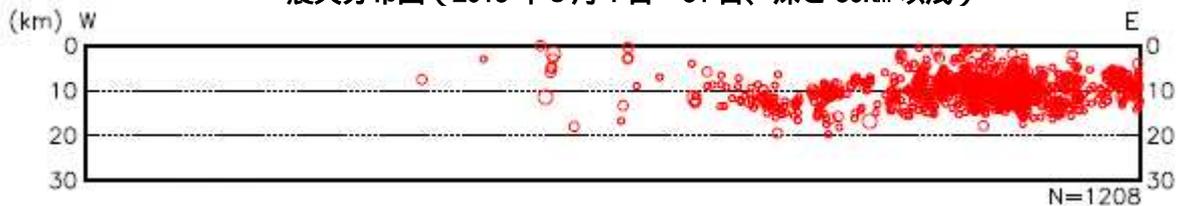
長崎県の地震活動概況 (2018 年 8 月)

平成 30 年 9 月 10 日

長崎地方気象台



震央分布図 (2018 年 8 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30km 以浅)



断面図 (2018 年 8 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30 km 以浅)
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

地震活動の概況 (2018 年 8 月)

8 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 3 回でした (7 月 : 8 回) 。
詳細は次頁以降のとおりです。

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す (活断層のデータは新編日本の活断層による) 。
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座) 、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動域における地震の発生状況

有明海

9日01時18分に有明海で発生したM2.8の地震（深さ11km）により、熊本県、長崎県で震度1を観測しました。長崎県では島原市で震度1を観測しました（図1左、表1）

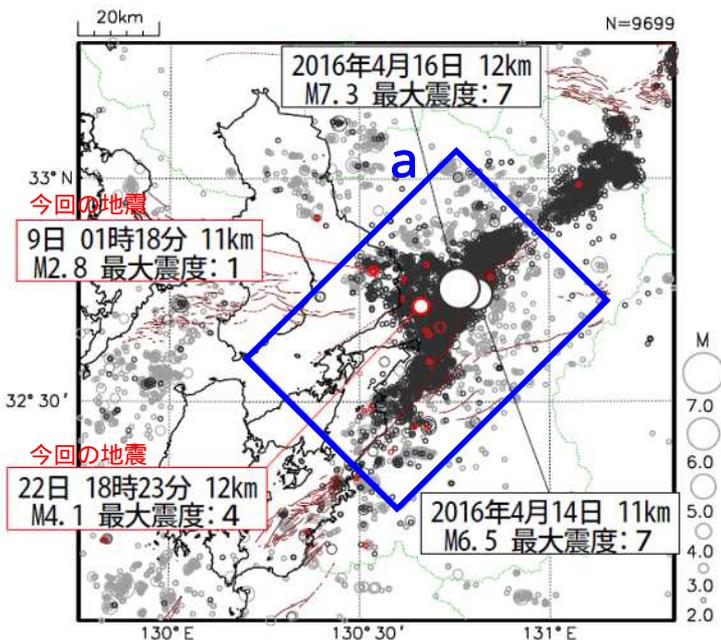
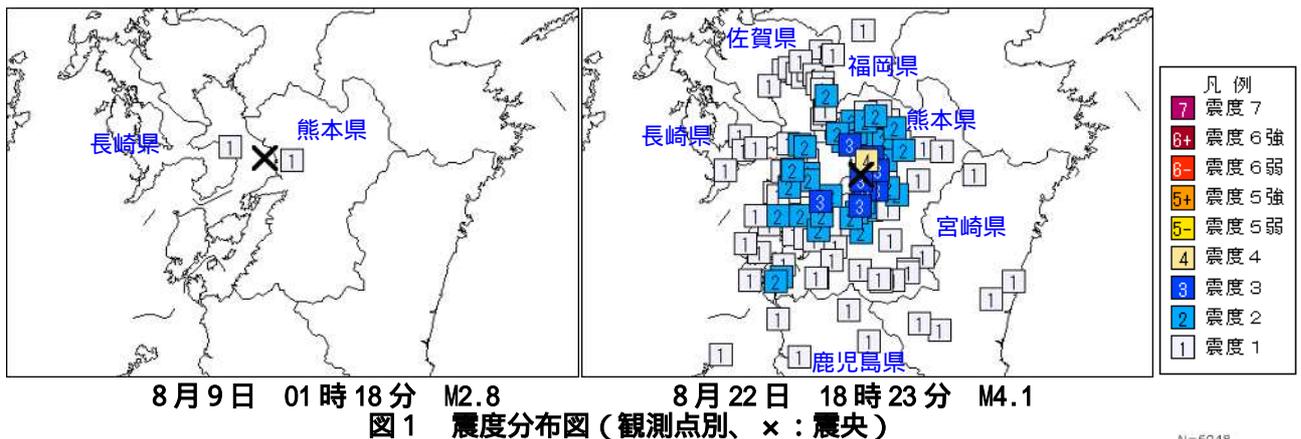
熊本県熊本地方

22日18時23分に熊本県熊本地方で発生したM4.1の地震（深さ12km）により、熊本県で震度4を観測したほか、熊本県を中心に九州地方で震度3～1を観測しました。長崎県では島原市、雲仙市および南島原市で震度2、長崎市、諫早市および大村市で震度1を観測しました（図1右、表1）

地震調査研究推進本部によると、熊本県熊本地方（図2領域a）及び阿蘇地方における「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続しており、現状程度の地震活動は当分の間続くと評価されています（図2、図3）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」に関しては、以下の気象庁ホームページを参照ください。
気象庁（熊本地震特設ページ）

http://www.jma.go.jp/jma/menu/h28_kumamoto_jishin_menu.html



（1997年10月1日～2018年8月31日 深さ0km～20km M 2.0）
2016年4月14日以降の地震を黒で、2018年8月の地震を赤で表示
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

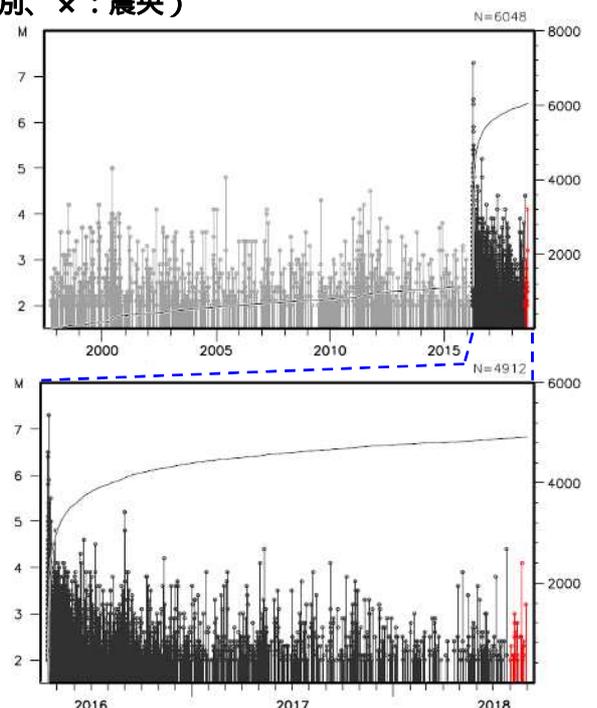


表1 これらの地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 1	2018年8月9日01時18分 有明海 32° 47.5' N 130° 32.1' E 11km M2.8	
長崎県	1	島原市有明町*
No. 2	2018年8月22日18時23分 熊本県熊本地方 32° 42.8' N 130° 39.7' E 12km M4.1	
長崎県	2	島原市有明町* 雲仙市国見町 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市雲仙出張所* 南島原市北有馬町* 南島原市布津町* 南島原市深江町*
	1	長崎市元町* 諫早市東小路町 諫早市多良見町* 大村市玖島* 島原市下折橋町* 雲仙市瑞穂町* 雲仙市小浜町北本町* 南島原市口之津町* 南島原市南有馬町* 南島原市西有家町* 南島原市加津佐町* 南島原市有家町*

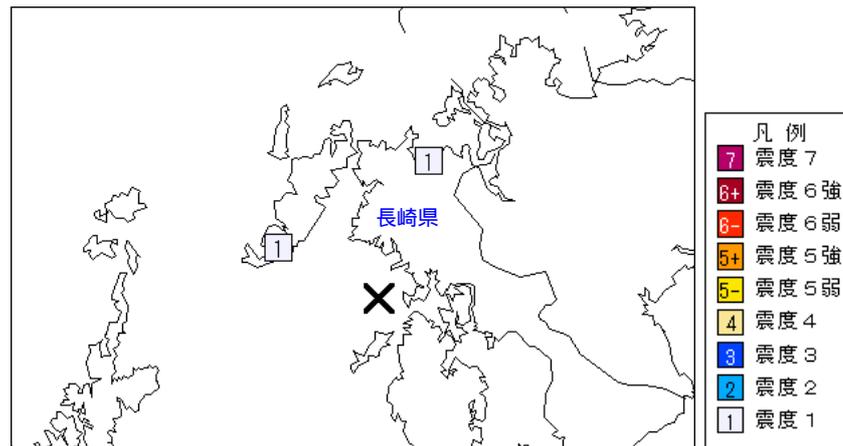
注1) 震源要素(緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注2) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

五島列島近海

25日21時51分に五島列島近海で発生したM2.7の地震（深さ12km）により、長崎県の平戸市、松浦市で震度1を観測しました（図4、表2）。

今回の地震の震源付近（図5領域b）で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、2018年4月2日に発生したM2.3の地震（最大震度1、平戸市で震度1）以来です（図5、図6）。



8月25日 21時51分 M2.7
図4 震度分布図（観測点別、x：震央）

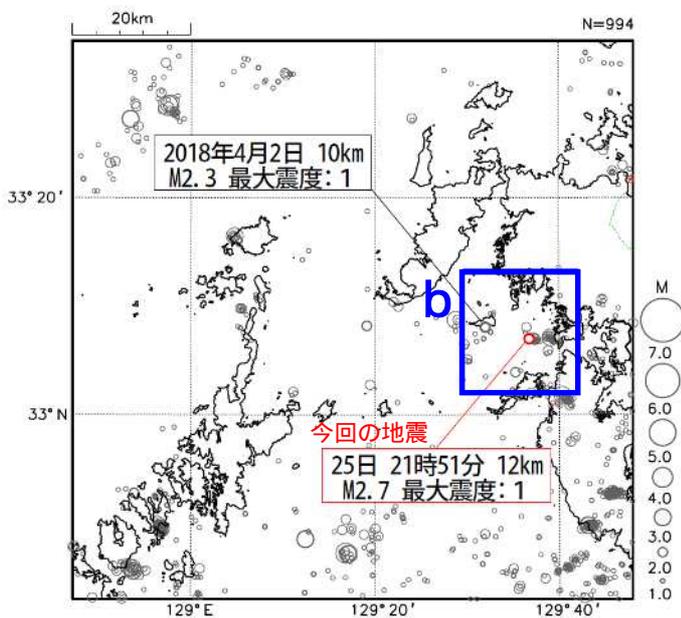


図5 震央分布図

(1997年10月1日~2018年8月31日 深さ0km~30km M 1.0)
2018年8月の地震を赤で表示

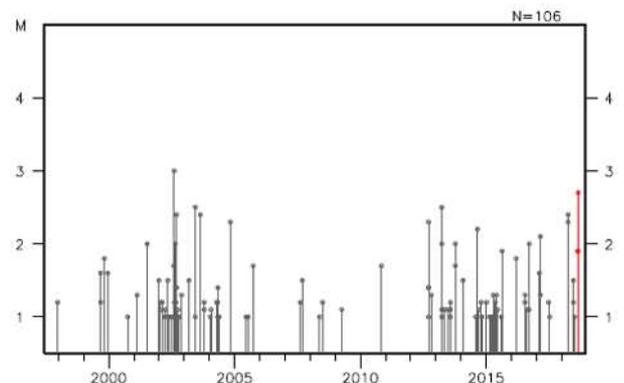


図6 図5領域b内の地震活動経過図

表2 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 3	2018年8月25日21時51分	五島列島近海	33°06.9' N 129°36.7' E	12km	M2.7
長崎県	1	平戸市志々伎町* 松浦市志佐町*			

注3) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注4) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

震度について

計測震度計と震度

地震が発生した時に各地の揺れの状況を把握することは、地方公共団体や防災機関による初動対応において大変重要です。

地震による各地の揺れの強さは、全国約4,400か所¹に設置された計測震度計(図1)により観測され、「計測震度」として気象庁に集約されます。気象庁ではこれらの計測震度を「震度階級」(表1)に換算し、震度1以上の揺れを観測した地点があった場合、各地で観測された震度の情報をとりまとめて発表します。

気象庁が発表する震度の情報の利用に当たり、以下のことに留意してください。

計測震度計は設置場所での揺れの強さを測定していますが、地中の地盤や地形の差異により地表の揺れの強さは変わります。例えば、同じ町内でも、震度にして1階級程度、揺れの強さが異なる場合があります。

小規模な地震がごく浅い場所で発生した場合、震源付近の限られた範囲で揺れを感じることがありますが、震源付近にある計測震度計で震度1以上(計測震度0.5以上)の揺れとして観測されなかった場合、地震情報は発表されません。

震度と揺れの状況

図2は、観測された震度とその周辺で発生する現象や被害の目安を示したものです。強い揺れに見舞われると、この図のような被害が生じるおそれがあります。

地震はいつ発生するか分かりませんので、普段から地震への備えを心がけておきましょう。

1 地方公共団体や(国)防災科学技術研究所の観測点も含まれます。

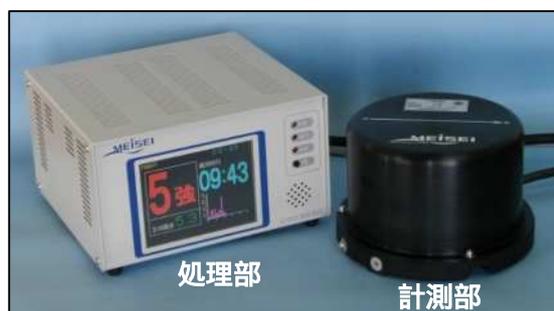


図1 計測震度計の処理部と計測部の例

表1 気象庁震度階級表

震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5未満	5弱	4.5以上5.0未満
1	0.5以上1.5未満	5強	5.0以上5.5未満
2	1.5以上2.5未満	6弱	5.5以上6.0未満
3	2.5以上3.5未満	6強	6.0以上6.5未満
4	3.5以上4.5未満	7	6.5以上

6弱

【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強

【震度6強】

- はわないと動くことができない飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

7

【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

図2 震度と揺れの状況(震度6弱~7を抜粋)

震度と揺れの状況に関する詳しい説明は、以下のURLからご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

地震への備えについては、以下のURLからご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/shikumi/tokusei.html#2>